

種別	交付対象事業名称	重要業績評価指標 (KPI)	構成事業名称 [担当課]	事業概要	交付金実績額	総合戦略位置付け		内部評価 (尾道市)		外部評価 (総合戦略評価委員)		【尾道市】事業の今後の方針について																
						基本目標	施策	地方創生に対する効果の有無	理由	地方創生に対する効果の有無	意見																	
地方創生推進交付金	尾道リノベーションプロジェクト【H28～H30】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値(H26)</th> <th>実績値(H30)</th> <th>目標値(H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光消費額</td> <td>249億円</td> <td>270億円</td> <td>269億円</td> </tr> <tr> <td>総観光客数</td> <td>6,412千人</td> <td>6,394千人</td> <td>6,750千人</td> </tr> <tr> <td>創業支援者数</td> <td>128人</td> <td>204人</td> <td>178人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	基準値(H26)	実績値(H30)	目標値(H30)	観光消費額	249億円	270億円	269億円	総観光客数	6,412千人	6,394千人	6,750千人	創業支援者数	128人	204人	178人	①新開地区空き店舗活用支援補助事業【まちづくり推進課】	<p>歓楽街である新開地区の遊休施設を活用して新たに新店または開業する際に必要となる経費に対し、補助金による支援を行い、自立した創業と持続可能なしごと創生を図る。</p>	4,577,500	1 地域の特徴を最大限活用した尾道ブランドをさらに強化し、安定した仕事の場を創出する。	創業支援、中核企業支援等の拡充	○	<p>平成30年は西日本豪雨災害の影響により総観光客数の減少があったが、当該事業の実施により、一人あたりの観光消費額は増加しており、観光客の回遊性の拡大、滞在時間の延長が図られていることから、地方創生に対して効果があったと考える。また、観光消費額や創業支援者数についても指標の目標値を上回っており、当該事業は地方創生に対して効果があったと考える。</p> <p>新開地区空き店舗活用支援事業をきっかけとして、新開地区への興味や新規出店が生まれ、その特徴的な古きまちなみと新たな店舗の融合により、特集的にメディアにも取り上げられるなど、誘客の拡大に繋がることができたことと、補助金による支援により、自立した創業と持続可能なしごと創生を図ることができた。</p> <p>空き家・空き店舗を資源としてとらえ、引き続き、リノベーションによる活用を促進し、関係団体との連携や他の支援制度を活用しながら新規創業を支援して、商業エリアとしての維持・再生を図り、まちの魅力向上と地域の活性化につなげていく。</p>	○ (5名)	<p>地方創生に対して効果があったと評価できる。</p> <p>① KPI3指標はいずれも昨年実績を下回っているが、昨年7月の集中豪雨災害の影響が大きく、政策効果を数値指標のみから判断するのは困難である。しかし、内部評価から、新開地区空き店舗活用支援補助事業や賑わい創出事業は、宿泊業や飲食等での新規開業の開業、レモンに関するイベントやインターネットを活用した動画配信などで成果を挙げており、一定の効果が認められる。</p> <p>② 今まで歓楽街として若い女性には縁が薄かった新開エリアに若者の新規創業が増えることで、若者や女性客が足を踏み入れやすくなったのは効果的であった。 1店舗ずつは小規模だが、昔ながらの街並みに点在する新店舗を老舗のお店共々回遊する「個人客のそぞろ歩き型の旅」の仕方が定着しつつあると感じる。 駅から真反対に位置するので、そこまで引っ張ってくるのは大変だと思いが、今後小さな点がひとつでも多く増えていくことで、新開のエリアとしての魅力が更に広がっていくことを期待する。</p> <p>③ 本事業がきっかけとなり開業に向けた相談、平成30年度に5件の開業があったことが評価される。 また、SNS発信については、継続していくことで瞬発力が期待できる。</p> <p>④ 本事業の補助金活用により、集客力が見込める店舗が毎年新規開業しており、観光都市としての魅力を高める賑わいの創出が進んでいる。 今後は両事業を融合させ、新規開業した店舗等については、〈賑わい創出事業〉において紹介する、店舗の回遊ルートの紹介等を行い集客の後押しをすることも必要ではないか。 「新開地区空き店舗活用支援補助事業」は地方創生に効果がある事業であり、今後も何らかの予算により交付金を継続することが重要である。</p> <p>⑤ 「新開地区空き店舗活用支援補助事業」については、ここ数年で創業の好循環が続いており、本事業の目的である先駆的かつ地域を牽引するという役割を一定程度果たしたと認められる。今後の事業継続につなげるための、産官の連携・継続した応援体制の構築(シティプロモーション、観光戦略)が望まれる。 「賑わい創出事業」については、SNS上での評価は高かったと認められるが、SNSによる情報発信によって、どれだけの誘客に繋がったのか、尾道の観光消費額が増大した因果関係がないため、事業効果を測ることは困難である。例えば、観光客に対するアンケート調査などによって、SNSによる情報発信の効果を検証するなどの仕組みを設けて評価する必要がある。</p>	<p>新開地区空き店舗活用支援補助事業による創業者に対して、フォローアップを行うとともに、市街地東側の魅力発信を継続し、引き続き、当該地域の活性化を図り、観光客の滞在時間延長に繋げる。</p>
			項目	基準値(H26)	実績値(H30)	目標値(H30)																						
観光消費額	249億円	270億円	269億円																									
総観光客数	6,412千人	6,394千人	6,750千人																									
創業支援者数	128人	204人	178人																									
			②賑わい創出事業【観光課】	<p>市街地東側エリアへの回遊性を高め、観光客等の滞在時間の延長を図り、市街地全体の活性化を図る。</p>	2,500,000	1 地域の特徴を最大限活用した尾道ブランドをさらに強化し、安定した仕事の場を創出する。	創業支援、中核企業支援等の拡充																					